



実り多い秋に

子どもたちと話をしていると、運動会や音楽会、陸上記録会などの話が出てきます。「リコーダーが吹けるようになりました。」「運動会でこんなダンスを踊りました。」などなど。コロナ感染拡大前のように、行事が多く予定され、それに向けて子どもたちが一生懸命取り組んでいる様子がよく伝わってきます。スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋・・・豊かな体験を多く積んで、実りある秋にしていってほしいと思います。

台風を心配したり、秋の声を聞くようになっても蒸し暑かったりと、体調管理の難しい日々が続いています。体調に気を付けて、元気に通ってきてください。

あべこうじさんは、小学校の「きこえとことばの教室」の先生です。この詩は、楽しい絵本になっています。教室にもありますので、ぜひ声に出して読んで、音と絵と両方を楽しんでください。



あいうえおばけ

あべこうじ

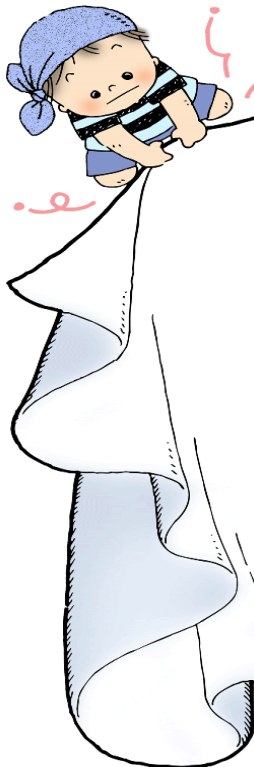
あいうえ	おばけが	あらわれる
かきくけ	こんやの	よるおそく
さしすせ	そうっと	そばにきて
たちつて	とつぜん	おどろかす
なにぬね	のんびり	ねてたのに
はひふへ	ほんとに	ぶったまげ
まみむめ	もちろん	めをまわす
やいゆえ	よくない	このおばけ
らりるれ	ろうやに	いれられろ
わいうえ	おしまい	ではまたね

※絵本『あいうえおばけ』

少年写真新聞社 発行

文：あべこうじ

絵：ささきみお より



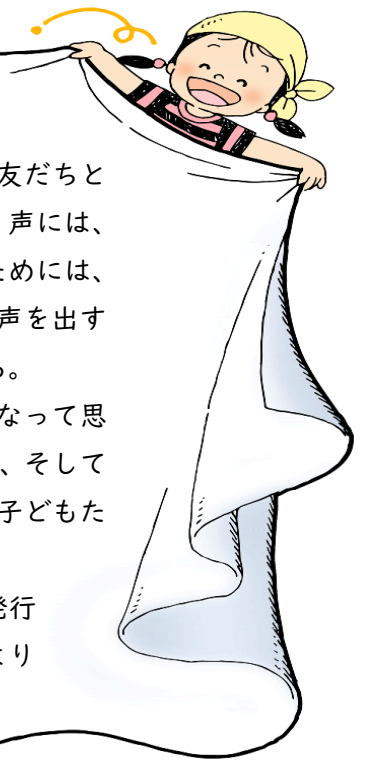
しっかり声を出すことというのは誰にとっても大切なことなんじゃないだろうか。

声は姿勢・気持ち・コミュニケーションとかかわってくる。家族や友達とのコミュニケーションには、やっぱり声を出した方がわかりやすい。声には、思いが込められるからね。気持ちが表れる。そして、良い声を出すためには、良い姿勢が基盤にないといけない。両足を踏ん張り、おなかの中から声を出すという練習をしてみると、声だけでなく気持ちもスカッとしてくる。

声を出すことの楽しさを味わうと、うまく自分の思いを伝えにくいなって思っている子や、ちょっと引っ込み思案の子どもたちも、声からことば、そして思いを伝えることの楽しさに気づくようになってくる。だから、私は子どもたちみんなに伝えたい。声を出すのって楽しいぞって。

絵本『あいうえおばけ』 文：あべこうじ 少年写真新聞社 発行

「楽しく声を出す～まずは『あいうえお』から始めよう～」 より



カードゲーム、バレーボール・・・子どもたちと一緒にゲームをしたり遊んだりしていると、「やったー！」「わあ！」など思わず大きな声が出てしまいます。大きな声を出して一緒に楽しんだ後は、何だか元気が出て「がんばろう！！」という前向きな気持ちになります。子どもたちに元気をもらって、私たちも日々がんばることができています。

